

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	ユニット行動指針に沿ったケアを行いながら、認知症についての知識を深め、ご利用者の思いや意向の把握に努めたい。	各ユニットが、それぞれの理念(行動指針)に基づいたケアを行い、ご利用者が自分らしく生活することができる。	1) 認知症についての勉強会、事例検討会を実施する。 2) ご利用者の隣に座り、語り合う時間を1日に1度は設け、会話の中での小さな要望(～したい、行きたい)を聞き出せた事を記録しておき日頃のケアに繋げる。	12 ヶ月
2	4	運営推進会議委員の方々との交流の機会を増やし、お互いの役割について認識を深め合い、意見や情報交換をしやすい関係性づくりを行っていききたい。	運営推進会議委員との関係が充実し、頂いた情報や意見を運営に反映する事ができる。	1) 運営推進会議の際に、民生委員や福祉推進員など運営推進会議委員の方々の、地域での役割や活動について発表して頂く機会を設ける。 2) 運営推進会議委員の方々を、事業所の行事にお誘いし、参加して頂く。	12 ヶ月
3	20 23	ご利用者が、地域行事や季節の行事に参加できるよう、年間行事計画表を活用しながら、計画性をもって取り組みたい。	ご利用者が、地域と馴染みの関係を継続することができる。	1) 昨年の行事参加状況を基に、年間行事計画表を作成する。 2) 広報誌・折込・フリーペーパー等で、地域行事の情報を収集し、その都度年間行事計画表に記入し、参加計画を立てる。	12 ヶ月
4	33	ご利用者の急変時などの緊急対応や、終末期ケアに関しての知識の向上を目指し、共通した対応が行えるように備えたい。	緊急対応や終末期ケアの際に、共通した対応を行うことができる。	1) 緊急対応・終末期ケアについて、マニュアルの見直しを行い、準備品を整備する。 2) 法人研修室、看護師と相談しながら、ロールプレイ(実践訓練)を取り入れた勉強会を行う。 3) 医療的対応の必要な方は、その内容をケアプランに反映させ、共通した対応に努める。	12 ヶ月
5	35	避難訓練や災害対策について、共通した認識を持ち、きちんとした備えや訓練を行っていききたい。	常に緊張感を持って、実践に近い意識で訓練や備えができる。	1) 避難訓練実施後は、参加したご利用者と訓練の振り返りの時間を設け、反省点や改善点を記録し、次回の訓練に活かす。 2) 備蓄品の整備、防災ずきん(ご利用者分)を用意する。 3) 台風・積雪前対策のチェック表を作成する。	12 ヶ月